

# 地区防防災計画の策定を急ぐために

伊藤久雄（認定NPOまちぼっと理事）

## 1. 地区防防災計画の策定状況

地区防災計画は、3.11 後の災害対策基本法の改定により、新たに制度化されたものである。地区防災計画の全国の策定状況は平成 29 年 4 月 1 日現在において 984 となっている（消防庁調べ）。また東京都内においては、以下の区市が取り組んでいる（大災害に備えるための東京の防災の課題（伊藤、まちぼっとリサーチ、2019 年 1 月 6 日）。

- ・ 世田谷区地域防災計画[平成 29 年修正]地区防災計画編
- ・ 江戸川区「地区防災計画」作成の手引き（平成 26 年 6 月）
- ・ 国分寺地区防災計画
- ・ 国立市総合防災計画（一定の地区内の居住者及び当該地区に事業所を有する事業者は、共同して、市防災会議に対して総合防災計画に地区防災計画を定めることを提案できる）

全国的な策定状況は、現在の段階ではおそらく 1000 自治体くらいにはなっているであろうから、まずまずの策定状況だと思われる。しかし関東の各都県はあまりすすんでいないのではないと思われる。下表は内閣府：防災計画ライブラリに紹介された事例であるが、あまりにも少ない。このような状況で、はたして豪雨災害に対応できるのかどうか、はなはだ心もとない。

## 地区防災計画 関東各都県の策定状況

（2019 年 5 月 28 日現在）

都県	市区町村	地区数	担当
埼玉県	狭山市	1	危機管理課
東京都	世田谷区	27	危機管理室
	足立区	19	災害対策課
	国分寺市	6	防災安全課
神奈川県	相模原市	22	危機管理課
計		75	—

※内閣府：防災計画ライブラリ：関東ページから作成

内閣府の「防災計画ライブラリ」の特徴は、地区ごとに作成過程や課題、「何をやるのか」などの特徴が書かれていることである。そこで、少し長くなるが足立区の 19 地区の特徴を

紹介したいと思う（読者はぜひ、他市の「特徴」も読んで欲しい。ライブラリには 163 事例が紹介されている）。

### 足立区 19 地区の特徴

千住柳町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちあるきで収集した情報を基にした検討</li> <li>・被災・対応シナリオ（自助/共助）と「事前対策リスト」の作成</li> <li>・火災、建物倒壊、要配慮者、道路閉塞についてシナリオ化</li> </ul>
千住元町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちあるきで収集した情報を基にした検討</li> <li>・5 町会が連携して検討</li> <li>・被災・対応シナリオ（自助/共助）と「事前対策リスト」</li> <li>・計画の検証作業について具体的に記載</li> </ul>
柳原東町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の検証作業について具体的に記載</li> <li>・地震発生時の対応シナリオをフロー図で整理</li> <li>・事前対策を自助としてやるべきこと・共助としてやるべきことに分類の上、チェックリスト化</li> <li>・地区防災計画策定に伴うワークショップを開催</li> </ul>
柳原西町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の検証作業について具体的に記載</li> <li>・地震発生時の対応シナリオをフロー図で整理</li> <li>・事前対策を自助としてやるべきこと・共助としてやるべきことに分類の上、チェックリスト化</li> <li>・地区防災計画策定に伴うワークショップを開催</li> </ul>
千住寿町南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災まちづくり勉強会」の場を通じた地区防災計画の検討</li> <li>・まちあるき、ワークショップ、地元説明会の実施</li> <li>・災害時（～72 時間）の応急対応シナリオを自助と共助に分けて記載</li> <li>・5 町会が連携して検討</li> </ul>
千住寿町北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちあるきベースによる検討</li> <li>・72 時間後までの「被災シナリオ」と「対応シナリオ」を自助・共助に分けて整理</li> <li>・事前対策を自助としてやるべきこと・共助としてやるべきことに分類の上、チェックリスト化</li> </ul>
千住大川町東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災まちづくり勉強会」の場を通じた地区防災計画の検討</li> <li>・まちあるき、ワークショップ、地元説明会の実施</li> <li>・災害時（～72 時間）の応急対応シナリオを自助と共助に分けて記載</li> <li>・5 町会が連携して検討</li> </ul>
千住大川町南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災まちづくり勉強会」の場を通じた地区防災計画の検討</li> <li>・まちあるき、ワークショップ、地元説明会の実施</li> <li>・災害時（～72 時間）の応急対応シナリオを自助と共助に分けて記載</li> <li>・5 町会が連携して検討</li> </ul>
千住龍田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちあるき、ワークショップの実施</li> <li>・計画の検証作業について具体的に記載</li> <li>・災害時の対応シナリオを記載</li> <li>・事前対策を自助としてやるべきこと・共助としてやるべきことに分類の上、チェックリスト化</li> </ul>
千住中居町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の検証作業について具体的に記載</li> <li>・災害時の対応シナリオを記載</li> <li>・事前対策を自助としてやるべきこと・共助としてやるべきことに分類の上、</li> </ul>

	チェックリスト化
大谷田東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の検証作業について具体的に記載</li> <li>・ 水害準備行動の対応シナリオをフロー図で記載</li> <li>・ 広域避難（松戸市への避難）の検討</li> <li>・ 通常時・災害発生時の行動項目を役割分担と共に整理した「コミュニティ・タイムライン」の作成</li> </ul>
中曽根町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の検証作業について具体的に記載</li> <li>・ 災害時の対応シナリオを記載</li> <li>・ 事前対策を自助としてやるべきこと・共助としてやるべきことに分類の上、チェックリスト化</li> </ul>
長門西町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の検証作業について具体的に記載</li> <li>・ 水害準備行動の対応シナリオをフロー図で記載</li> <li>・ 広域避難（松戸市への避難）の検討</li> <li>・ 通常時・災害発生時の行動項目を役割分担と共に整理した「コミュニティ・タイムライン」の作成</li> </ul>
長門東部町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークショップ、まち歩き、地元説明会の実施</li> <li>・ 気象・水象情報及び区の動きとそれに紐づく住民等の対応を整理した「水害対策タイムライン」の記載</li> <li>・ 災害時の応急対策シナリオの検討</li> </ul>
長門南部町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水害準備行動の対応シナリオをフロー図で記載</li> <li>・ 広域避難（松戸市への避難）の検討</li> <li>・ 通常時・災害発生時の行動項目を役割分担と共に整理した「コミュニティ・タイムライン」の作成</li> </ul>
長門北部町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水害準備行動の対応シナリオをフロー図で記載</li> <li>・ 広域避難（松戸市への避難）の検討</li> <li>・ 通常時・災害発生時の行動項目を役割分担と共に整理した「コミュニティ・タイムライン」の作成</li> </ul>
隅田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち歩きを踏まえた洪水防災マップの作成</li> <li>・ 気象・水象情報及び区の動きとそれに紐づく住民等の対応を整理した「水害対策タイムライン」の記載</li> <li>・ 災害時の応急対策シナリオの検討</li> </ul>
本木一丁目南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の対応シナリオを記載</li> <li>・ 事前対策を自助としてやるべきこと・共助としてやるべきことに分類の上、チェックリスト化</li> </ul>

## 2. 計画の策定を急ごう！

地区防災計画を定める方法は2通りあるとされている。

- ・ 市町村防災会議の判断で、地域の意向を踏まえて市町村の地域防災計画に組み込む方法
- ・ コミュニティの人々が地区防災計画の案を作成し、市町村防災会議に提案して組み込む方法

しかし、足立区の地区防災計画の「特徴」に明確に表れているように、「勉強会」「まち歩き」「ワークショップ」などを行って、地区（コミュニティ）ごとに地区の特性を踏まえ

た計画を練り上げることが重要である。ハザードマップをつくって個別配布しても、そもそもハザードマップとは何かの勉強会やまち歩きをこまめに行い、自らが住む地域がどういう状況にあるのかを知らなければ、避難勧告や避難指示を出しても無視され、被害者を出してしまうことになる。

まず関心のある地区から初めて自治体全体に広げていくことなど、工夫次第である。内閣府のガイドラインなども参考に、そして先行自治体の取組みも教訓に地区防災計画の策定を急ごう！

#### <参考>

- 平成 30 年版 消防白書  
<http://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h30/>
- 地区防災計画ガイドライン（内閣府）  
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/pdf/guidline.pdf>
- 地区防災計画ライブラリ（内閣府）  
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/chikubousai/chikubo/chikubo/index.html>
- 地区防災計画制度の創設の経緯並びにその現状及び課題に関する考察  
～東日本大震災の教訓を受けた災害対策基本法の改正を踏まえて～  
(国土交通政策研究所報第 56 号 2015 年春季)  
(著者：西澤雅道 前内閣府防災担当（現内閣府規制改革推進室）、筒井智士 前内閣府防災担当（現 NTT 東日本株式会社）、金 思穎 専修大学）  
<https://www.mlit.go.jp/pri/kikanshi/pdf/2015/56-10.pdf>
- 大災害に備えるための東京の防災の課題（伊藤、まちぼっとリサーチ、2019 年 1 月 6 日）  
<http://machi-pot.org/modules/project/uploads/20190106.pdf>